

読書教育のオンライン習い事サービス「ヨンデミー」 を活用した文京区育成室での読書推進事業

実施事業者：(株)Yondemy

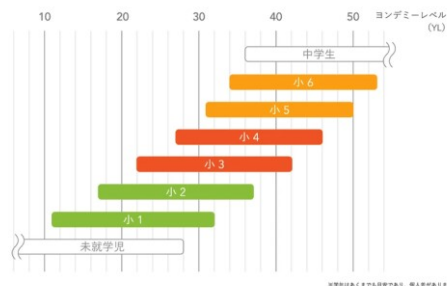
1 実証事業概要

○AI司書を活用した読書の習慣化の検証

AI司書「ヨンデミー先生」が一人ひとりの読書レベル（ヨンデミーレベル）に合わせた本を提案し、子どもが自発的に本を手にする環境を構築。



アプリ画面のイメージ



学年とヨンデミーレベルの対応グラフ

○学童保育を「みんなで本を楽しむ場所」に

ポスターや、動画を活用したイベントにより、「みんなで本を楽しむ」体験を提供。



○現場負担を最小化する図書館連携の検証

図書館の団体貸出制度を活用し、AIによる選書を導入することで、職員の事務負担を最小限に抑えながら、良質な蔵書を実現。

2 実施結果

○読書量の飛躍的向上

育成室全体で週に3~5冊しか読まれていなかった（導入前 → に行った職員アンケートより）

数字で振り返る！1年間の「ヨンデミー」の歩み



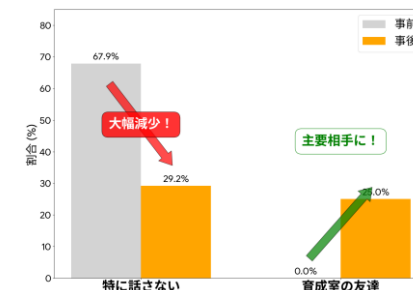
本の感想提出数
3,934冊達成！



1週間当たり
約**100.1冊**！

○育成室が「本の話ができる場所」に

本について話す子どもが大幅に増加。
特に、育成室での子供同士の会話が活発に。



○本を使ったイベントの盛り上がり

ポスターや動画を使ったイベントを育成室内で行い、それをきっかけとした読書行動が見られた。一例として、2冊の本を並べて「どっちがすき？」と問いかけるポスターを掲示したところ、1週間で100件を超える感想を集めた。



3 今後の展開

○多様な教育機関や自治体との連携を強化し、「みんなで本を楽しむ場所」を、より多くの場へ広げていく。

○テクノロジーの活用により、現場のオペレーションを徹底的に軽減しつつ、子どもたちに質の高い読書体験を提供し続ける仕組みを追及する。